

単元名 5 筋道を立てて -思考のレッスン2 原因と結果

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。
(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに, 我が国の言語文化を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする。

標準的な展開例

10210208_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 原因と結果の関係を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★原因と結果の関係を捉えることで, 話の筋道を理解できるようになろう。 ○ 教科書の「問題1」(p. 136)に取り組む。 <p>○ 教科書の「問題2」(p. 137)に取り組む。</p> <p>○ 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「教科書のリード文」(p. 136)を参考に, 原因と結果の定義を理解させる。 ・ 原因と結果を抜き出し, どのようにつながっているかを整理させる。 ・ 教科書の類題を準備し, 練習し定着させるとよい。 <p>【評】原因と結果を表す言葉を探す活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原因と結果のつながりに無理がある例を確かめ, 以下のパターン別に整理させる。 <ol style="list-style-type: none"> ①単なる偶然 ②逆の因果関係 ③疑似相関 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「単なる偶然」である理由を説明させたり, 「原因と結果が逆」である理由を説明させたり, 「隠された別の要因」は何か指摘させるとよい。 ・ 地理の気候帯は相関関係, 歴史の出来事は因果関係で説明できることに触れる。 <p>【評】原因と結果のつながりを確かめる活動を通して, 「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話の筋道を理解するには, 原因と結果の関係を捉えることが大切であるということを確認する。

【 備 考 】

論理的な表現は, 展開の中心となる意見を述べた部分とそれを支える具体例などの付加的な部分などから構成されている。文章を読んだり, 書いたりする場合はもちろんのこと, 話し合う際にも, 議論の中心となる論点を明確に捉えておくことは大切である。論点が明確でないと理解する場合も表現する場合もすれ違いが生じ, 考えを深めることができなくなる。ここでは, 論点を明確にすることを通して, 読んだり書いたり話し合ったりしながら, 考えを深めていく学習をする。